

iPad ビューアー
3D-Vega

インストール&オペレーティングマニュアル

■3D-Vega exporter のインストール

※CDの中には以下のものがあります。各フォルダ内にインストールプログラムがあります。

・ 3D-Vega.pdf

【Win 版の方】

- ・ SketchUp2013 フォルダ
- ・ Sketchup2014 フォルダ
- ・ Sketchup2015 フォルダ
- ・ Sketchup2016 フォルダ

【Mac 版の方】

- ・ Sketchup2013 フォルダ
- ・ Sketchup2014 フォルダ
- ・ Sketchup 2015 フォルダ
- ・ Sketchup2016 フォルダ

プログラムの形式は「*.rbz 」という形式でインストール方法は非常に簡単です。

Windows 版 「3DVega_1_0_0_0_SUxx_x*_*_Win.rbz」

Mac 版 「3DVega_1_0_0_0_SUxx_x*_*_Mac.rbz」

※xx はお使いの SketchUp のバージョンに合わせて選択します。*_* は OS のシステムに合わせて選択します。

① CD のフォルダ内にあるインストールプログラムからご自身の OS に合った「*.rbz」ファイルをマシンの任意の場所に保存します。

SketchUp 8 と SketchUp 2013 用のプログラムは共通なので、Sketchup 8 をお使いの方も SketchUp2013 用プログラムを選択します。※SketchUp 8 に関するサポートは終了しております。

※32bit マシンをお使いの方は、32bit 用インストールプログラムがありますので、選択時お間違えの無いように注意が必要です。

② SketchUp を起動します。

③ (Windows) ウィンドウメニュー>環境設定

(Mac) SketchUp メニュー>システム環境設定 を開きます。

④以下の手順でプログラムをインストールします。

インストールの際の表示は SketchUp のバージョンによって異なります。

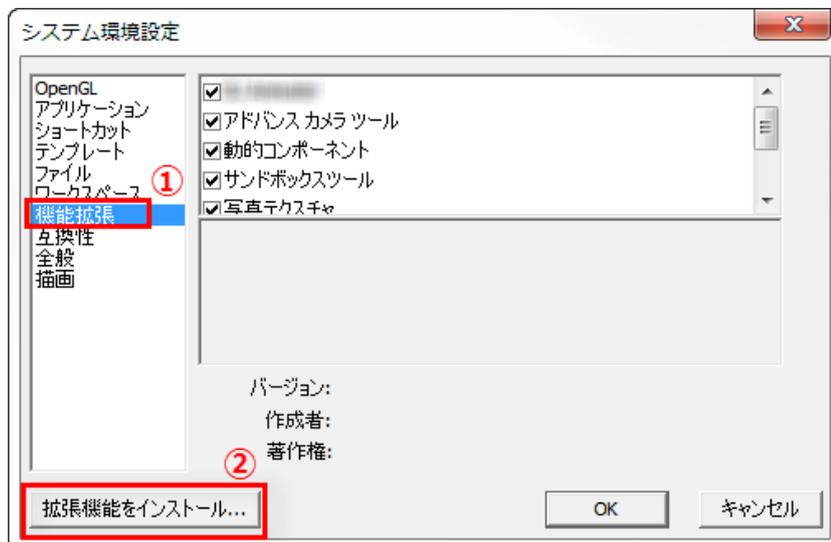
※Mac 版の説明は Windows 版の説明の下にあります。

Windows

《SketchUp 2016 をお使いの方》

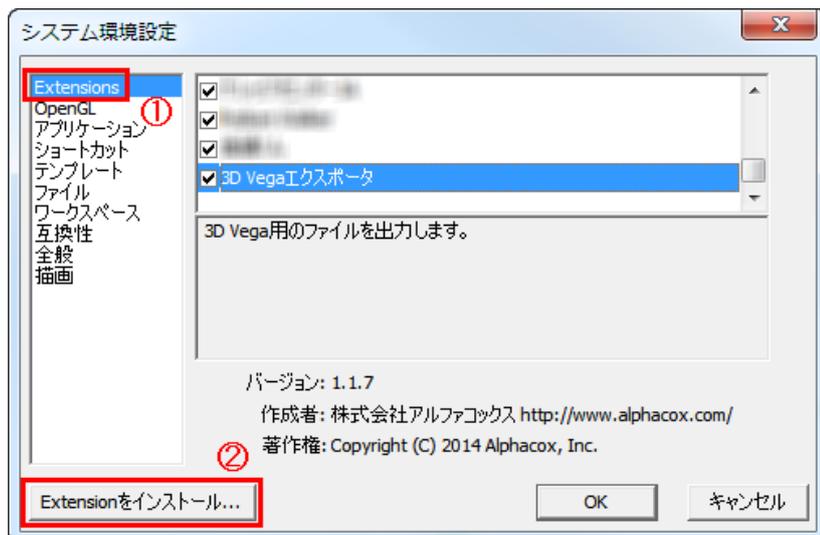
-1 環境設定ウィンドウの中の【拡張機能】をクリックします (以下の図の①)。

-2 ウィンドウの左下にある【拡張機能をインストール】を選択します (以下の図の②)



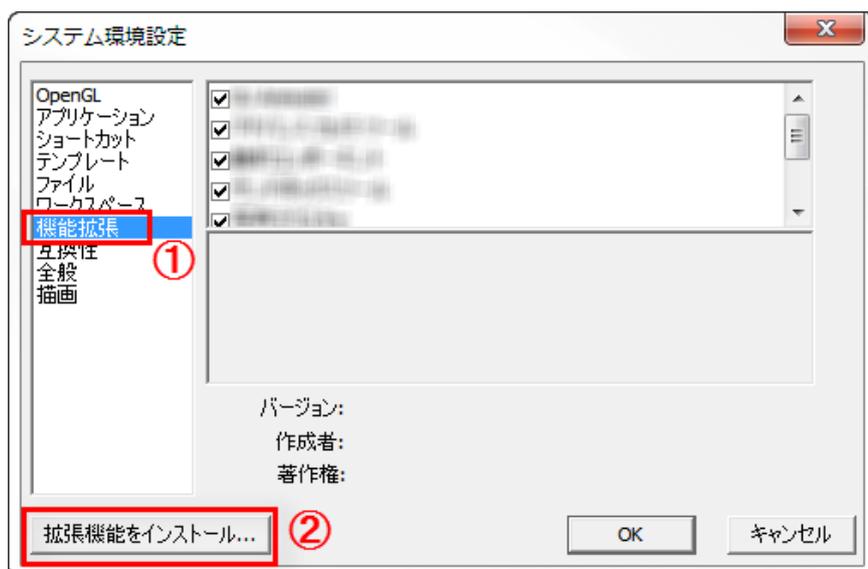
《SketchUp 2015 をお使いの方》

- 1 環境設定ウィンドウの中の【Extensions】をクリックします（以下の図の①）。
- 2 ウィンドウの左下にある【Extension をインストール】を選択します（以下の図の②）



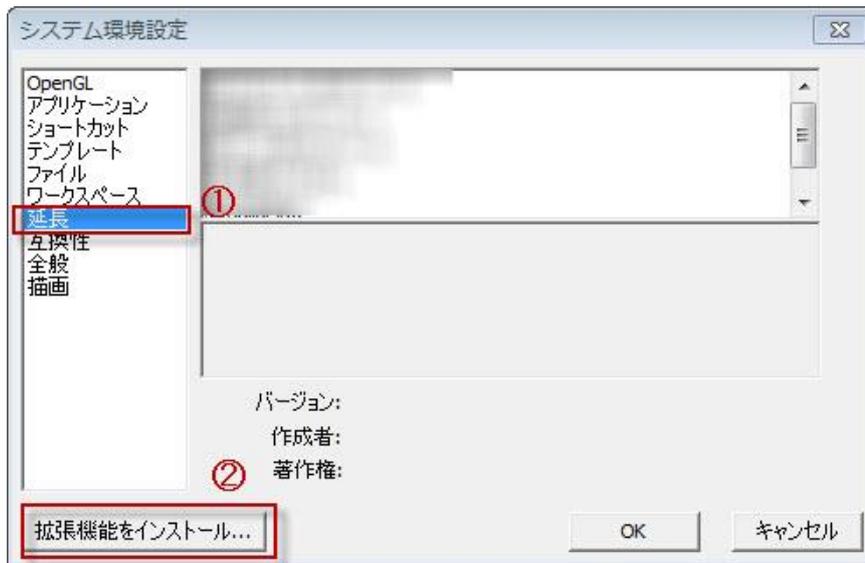
《SketchUp8/ 2014 をお使いの方》

- 1 環境設定ウィンドウの中の【機能拡張】をクリックします（以下の図の①）。
- 2 ウィンドウの左下にある【拡張機能をインストール】を選択します（以下の図の②）



《SketchUp 2013 をお使いの方》

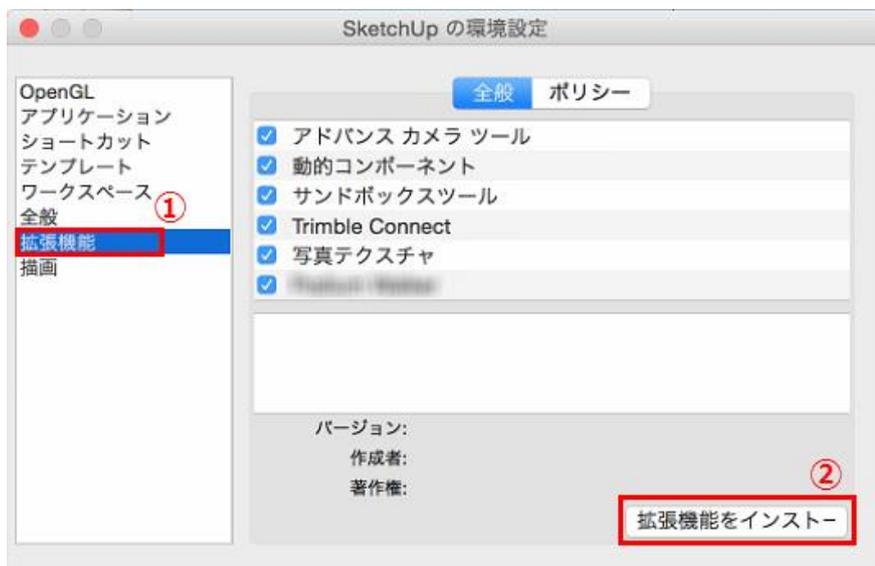
- 1 環境設定ウィンドウの中の【延長】をクリックします（以下の図の①）。
- 2 ウィンドウの左下にある【拡張機能をインストール】を選択します（以下の図の②）



Mac

《SketchUp 2016 をお使いの方》

- 1 環境設定ウィンドウにて【拡張機能】をクリックします。（以下の図の①）
※2015 版のバージョンによっては「Extensions」が「機能拡張」と表示されております。
- 2 【拡張機能をインストール】を選択します。（以下の図の②）

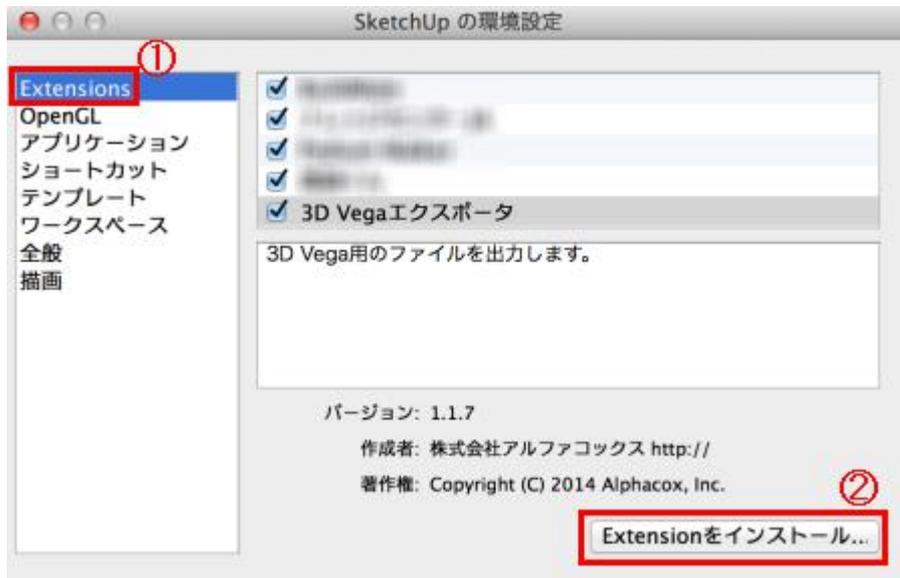


《SketchUp 2015 をお使いの方》

-1 環境設定ウィンドウにて【Extensions】をクリックします。(以下の図の①)

※2015 版のバージョンによっては「Extensions」が「機能拡張」と表示されております。

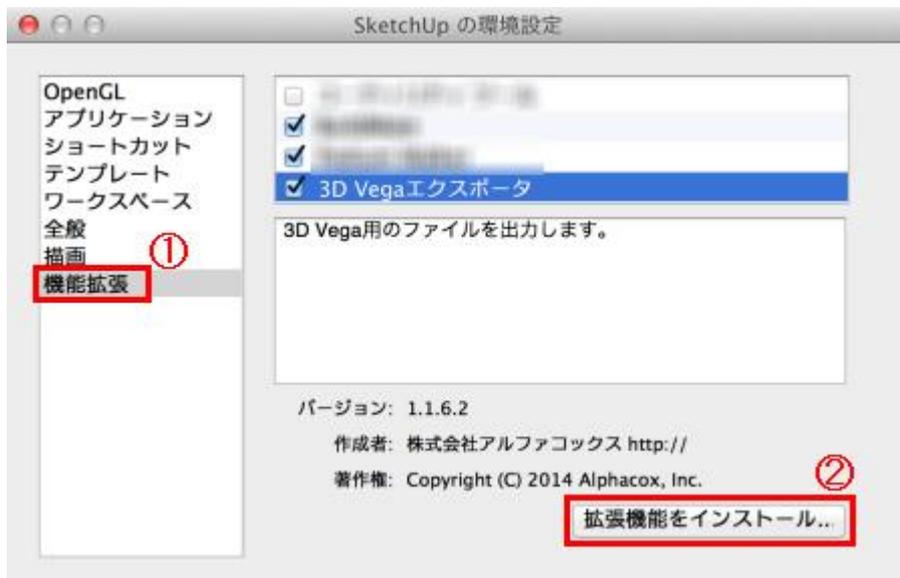
-2 【Extension をインストール】を選択します。(以下の図の②)



《SketchUp8/2013/ 2014 をお使いの方》

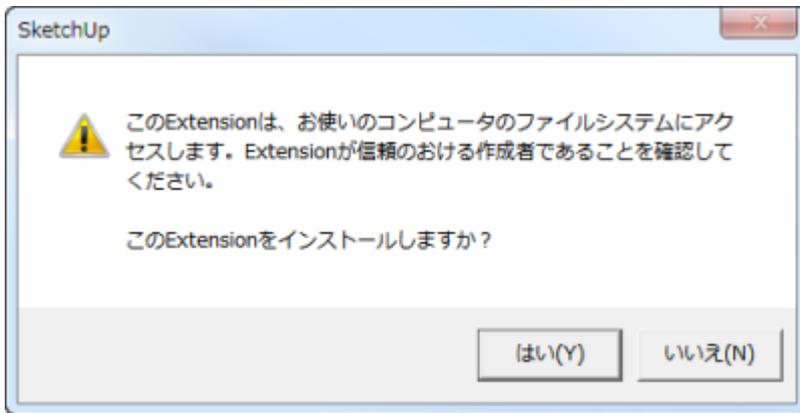
-1 環境設定ウィンドウにて【機能拡張】をクリックします。(以下の図の①)

-2 【拡張機能をインストール】を選択します。(以下の図の②)



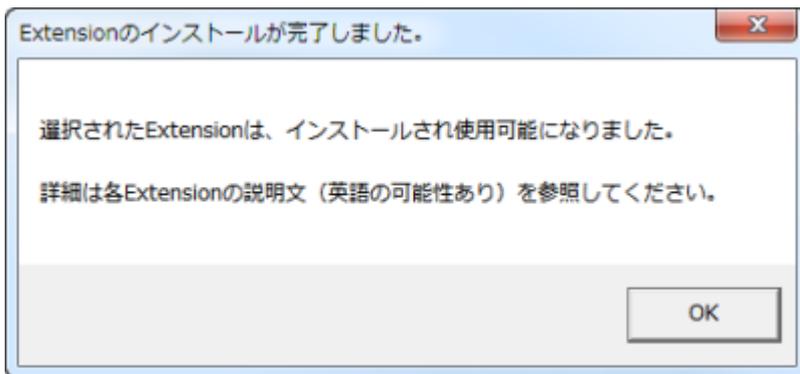
⑤ ①で保存した「3DVega_1_〇_〇_〇_SUxx_×* *_Win.rbz」 / 「3DVega_1_〇_〇_〇_SUxx_×* *_Mac.rbz」を選択して開くボタンをクリックします。

⑥以下のメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。(下図は Windows の表記ですが Mac もほぼ同じ操作です。)



⑦ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合、「はい」を選択します。

⑧インストールが完了すると以下のメッセージが表示されるので、OKを選択します。

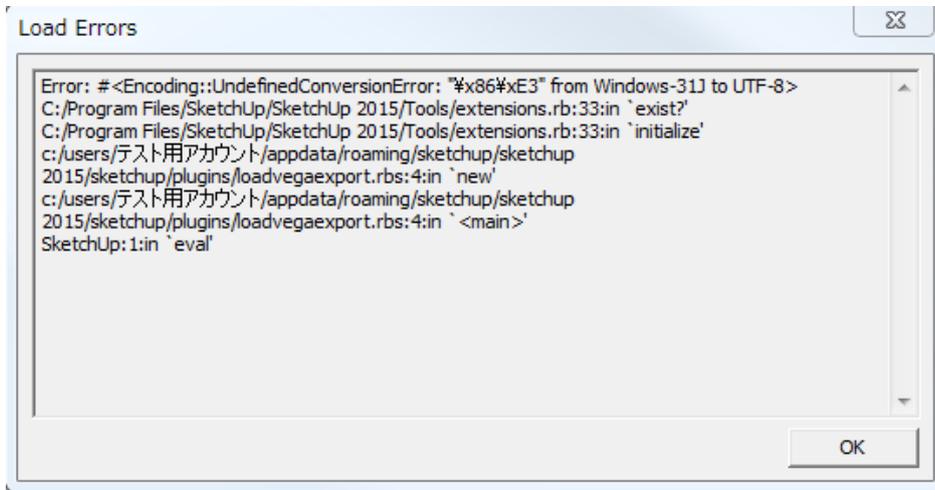


※インストール完了後、プラグインメニューの項目やアイコンで 3D-Vega が表示されない場合は、SketchUp を再起動してください。

※Windows をお使いの方へ

<SketchUp 2016/2015/2014 で起こるロードエラーに関して>

SketchUp 2014 以降のバージョンに 3D-Vega をインストールした後、SketchUp を起動した時に下記のようなエラーが表示される場合があります。



この問題は Windows にログインしているユーザー名が全角文字(日本語等のダブルバイト文字)または半角カタカナであることが原因です。

SketchUp2014 から、プラグインのインストール先が変更になり、プラグインの保存場所のルートにユーザー名が含まれるようになりました。

そのため、ユーザー名が全角文字または半角カタカナが使われている場合は、ルートにダブルバイト文字が含まれることになり、その場合プラグインを読み込むことができずエラーが表示されてしまう問題が発生しています。

このユーザー名はあとで変更しても変更が完全に修正されず、設定が残ってしまいます。

これは Windows の仕様となります。

改善のためには、下記の手順をお試し下さい。

※以下は SketchUp2016 の表記です。過去の SketchUp をご使用の方はバージョン数の部分をご自身がお使いのバージョンに読み替えて下さい。

1. SketchUp を終了します。
2. 下記のフォルダにアクセスします。

C:¥ユーザー¥ユーザー名¥AppData¥Roaming¥SketchUp¥SketchUp 2016¥SketchUp

※AppData は隠しフォルダを表示する設定が必要です。下記事をご参照下さい。

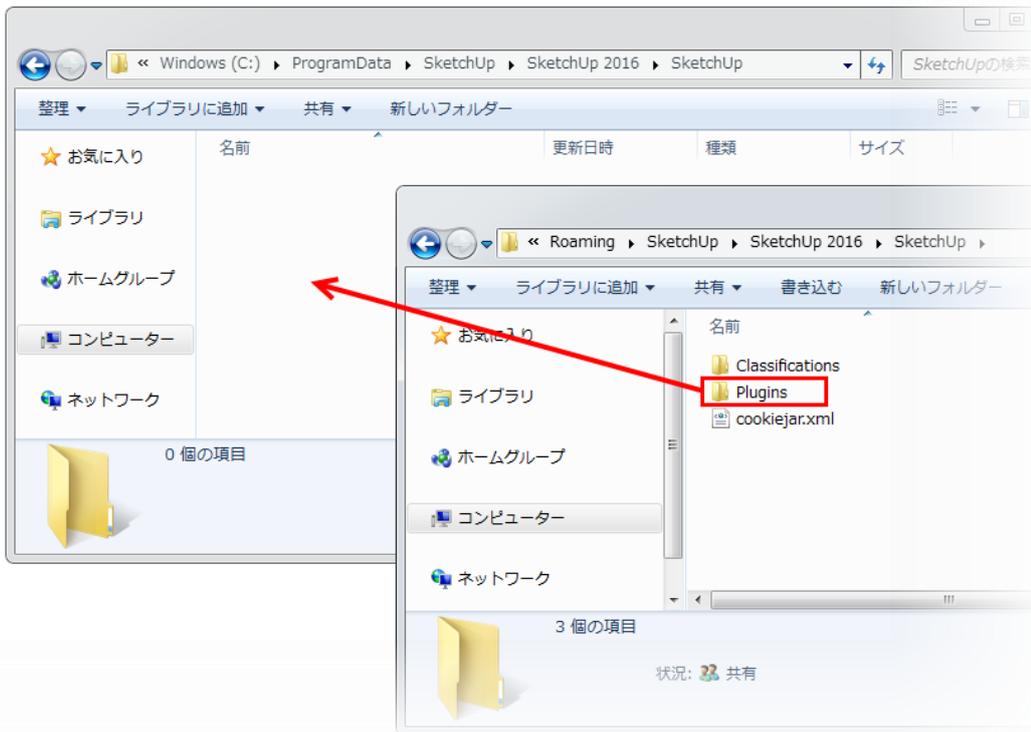
<http://www.su-support.com/support/archives/1596>

3. もうひとつ新しいフォルダのウィンドウを開いて、下記の場所を表示します。

C:¥ProgramData¥SketchUp¥SketchUp 2016¥SketchUp

4. このフォルダの中に、2.で開いたフォルダの「Plugins」フォルダをドラッグ&ドロップして移動します。

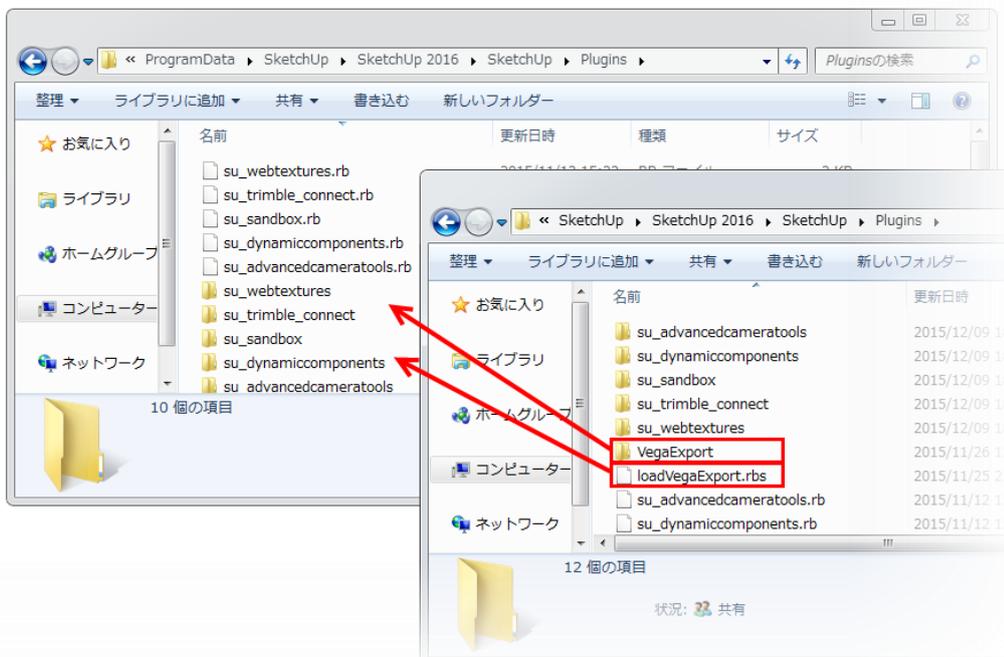
(この段階で一時的に 2.の中に「Plugins」フォルダがなくなりますが、次回 SketchUp を起動時に自動的に作成されます。)



※3.のフォルダの中に、すでに「Plugins」フォルダがある場合は

C: ユーザー¥ユーザー名¥AppData¥Roaming¥SketchUp¥SketchUp 2016¥SketchUp¥Plugins
 の中の下記の2つのファイルだけを移動します。

- VegaExport フォルダ
- loadVegaExport.rbs ファイル



5. SketchUp を起動してプラグインが問題なく表示できるかどうかをご確認下さい。

■ライセンス認証

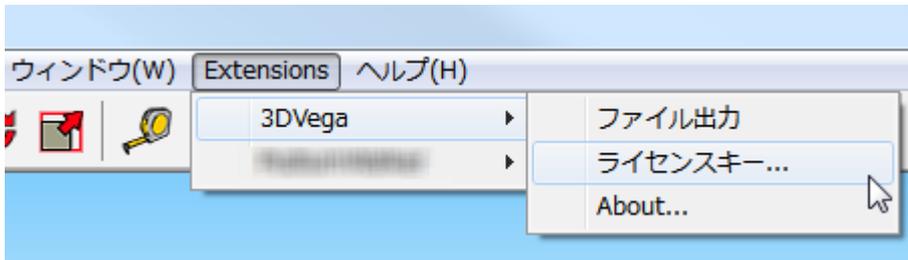
①SketchUp (Pro) を起動します。

②3D-Vega のアイコンまたは、メニューの「Extensions」>3DVega>ライセンスキー を選択してください。

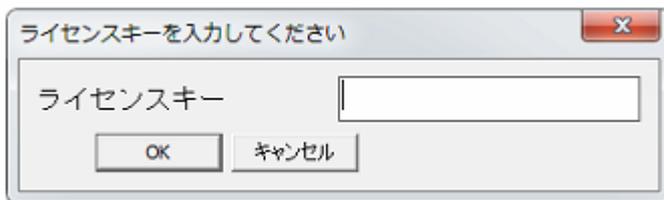
Mac の場合はメニューの「拡張機能」>3DVega>ライセンスキー を選択してください。

(2014 以前のバージョンは「プラグイン>3DVega>ライセンスキー」を選択して下さい。)

※翻訳が一部間違えている箇所がございます。こちらに関しては開発元に修正を要請中です。



③ライセンスの入力をしてください。(お間違えの無いように番号を入力してください。)



④ライセンス認証が完了すると「新しいキーが登録されました」と表示されます。

■ ファイルのエクスポート方法

iPad でモデルを表示するためのファイルに変換を行います。

①SketchUp を起動し、iPad に表示させたいモデルを作成してください。

※エクスポーターを起動した時のカメラ位置、並びに影の設定がそのまま iPad に出力されます。

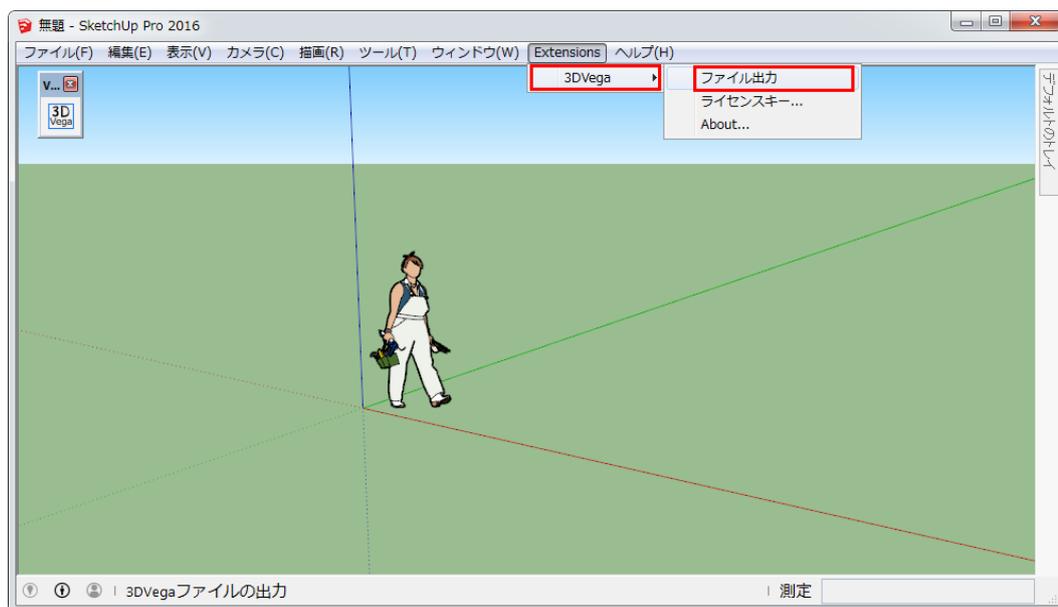
起動前に調整してください。

②3D-Vega のアイコンまたは、メニューの「Extensions」>3DVega>ファイル出力 を選択してください。

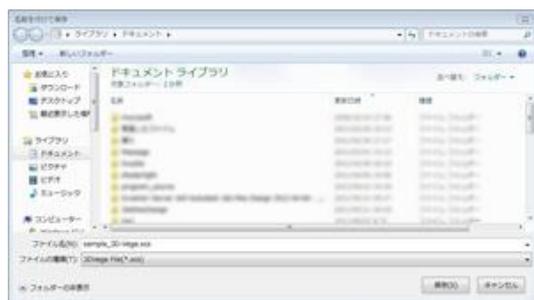
Mac の場合はメニューの「拡張機能」>3DVega>ファイル出力 を選択してください。

(2014 以前のバージョンは「プラグイン」>3DVega>ファイル出力 を選択して下さい。)

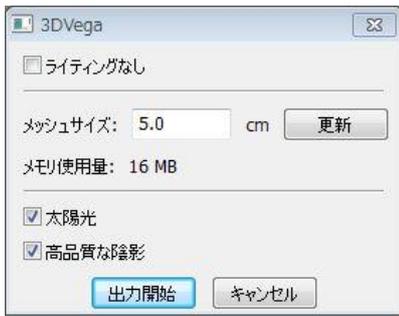
※翻訳が一部間違えている箇所がございます。こちらに関しては開発元に修正を要請中です。



③エクスポートするファイル名と格納場所を指定してください。



④レンダリングの設定を行ってください。



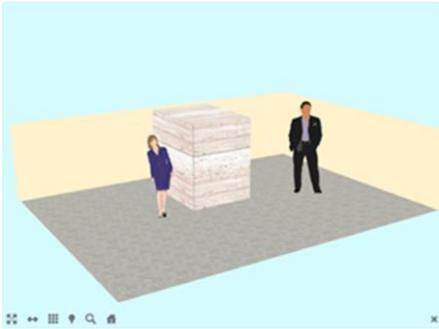
ライティングなしにチェックを入れると影や陰影は出力されません。
デフォルトはチェックがついてなく、出力される状態になっています。

メッシュサイズを細かくするとデータは綺麗になりますが重くなり、iPad 搭載のメモリでは表示ができない可能性も出てきます。

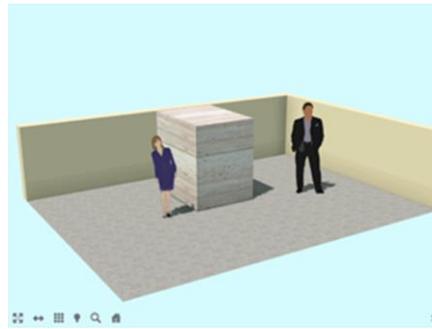
太陽光とは SketchUp の影の設定のことを指します。
設定に関する詳細は Web をご覧ください。

<http://www.alphacox.com/3d-vega/>

1. ライティングなし (レンダリングなし→SketchUpに近い画像)



2. 太陽光 あり/ 高画質な陰影 あり



3. 太陽光 あり/ 高画質な陰影 なし



4. 太陽光 なし/ 高画質な陰影 あり



5. 太陽光 なし/ 高画質な陰影 なし



※メッシュサイズ (デフォルト:5.0 c m) を細かくすると、計算される影が滑らかになりますが、データ量が大きくなります。モデルのデータ量も含め、データが大きくなってもエクスポートは可能ですが、iPad のメモリ容量が足りない場合には、ファイルの読み込み時に強制終了がかかります。データ量の目安としては、二階建て住宅 (内装あり) 程度であれば影を 5 c mメッシュで計算すれば表示が可能です。

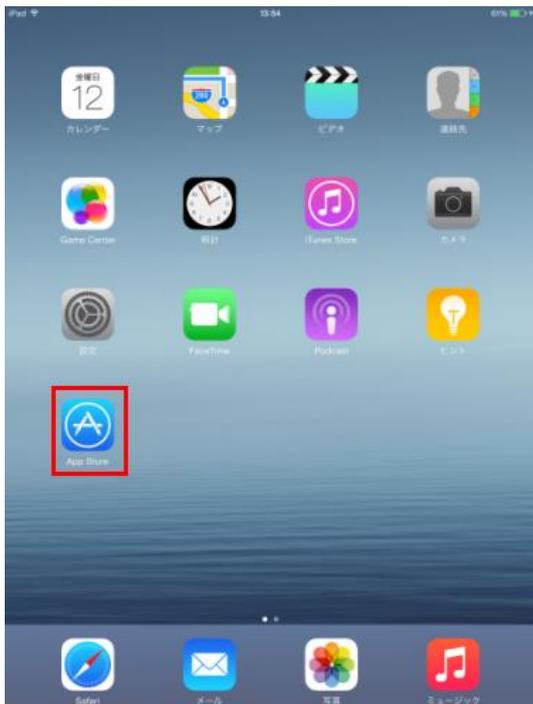
⑤設定をしたら「出力開始」をクリックします。

⑥出力が完了したら SketchUp ファイルと同階層に「*.xcs」ファイルが作成されます。

■3D-Vega ビューアーのインストール方法

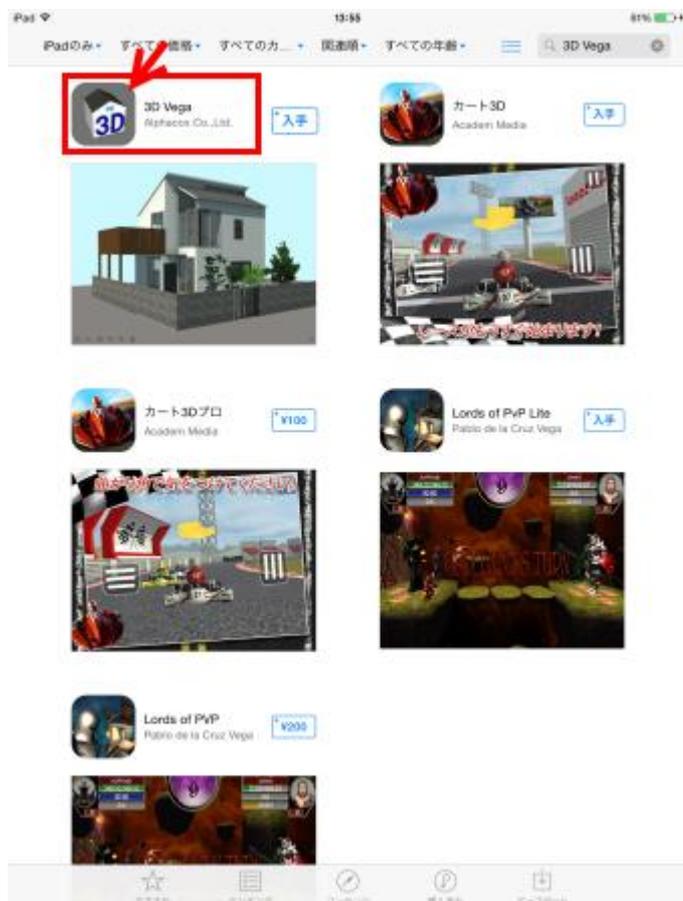
iPad 上で変換データを表示するためのアプリをインストールします。(iPhone でも、基本的な操作方法は同じです。)

①iPad の App Store を起動してください。



②App Store の検索ボックスに「3D Vega」と入力して検索します。(表記のように「3D」の後に半角スペースを開けて「Vega」と入力して下さい。)

③検索結果にアプリが表示されたら 3D Vega をタップします。



④説明をご覧の上、「入手」ボタンをタップした後、「インストール」をタップします。(iTunes Store へのサインインが必要です。)

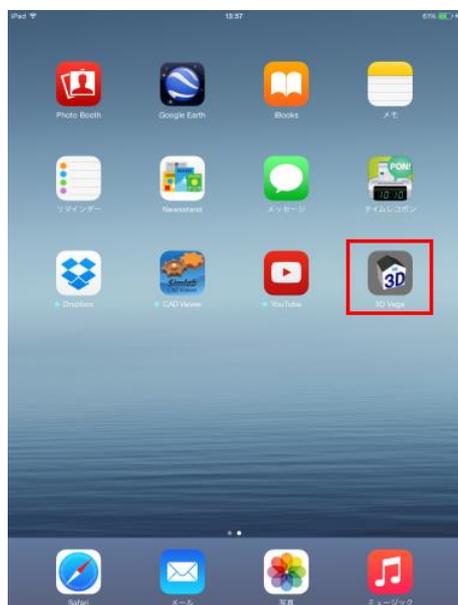


※3D-Vega のビューアーは無料でお使い頂けます。SketchUp で作成したモデル(skp) をビューアーでご覧になるには、有料の SketchUp プラグインである 3D-Vega エクスポーターのご利用が必須になります。

※評価用データ (.xcs) で操作をお試し頂けます。評価用のデータを使用する場合には評価用データ (.xcs) を所定の場所よりダウンロードしてください。

ダウンロード URL : <http://www.alphacox.com/3d-vega/download/>

⑤アプリのインストールが完了するとホーム画面には以下のように 3D-Vega のアイコンが表示されます。



■iPad でモデルを表示する

iPad でモデルを表示するには複数の方法があります。以下の方法をご参照ください。

<1.iTunes にて直接モデルをインポートする方法>

- ①iPad を iTunes に接続し、①のボタンをクリックしてください。
- ②下記画像の②の「App」をクリックして下さい。
- ③表示された App の画面を下の方にスクロールします。



- ④「ファイル共有」の欄に 3D-Vega が表示されていることが確認できます。



⑤ 「3D Vega」を選択すると、右に「3D Vega の書類」と表示されます。



⑥ 「3D Vega の書類」の欄にエクスポートしたファイル（「*.xcs」ファイル）を「3D Vega の書類」の中にドラッグ & ドロップしてください。（複数ファイル可）



⑧ iPad の 3D-Vega を起動します。

⑨ 「*.xcs」ファイルが iPad のビューアーの一覧表に取り込まれます。表示されない場合は「更新」ボタンをクリックして下さい。（3D-Vega を起動した際にモデルが表示されている場合は右下の×印をタップすると一覧表が表示されます。）

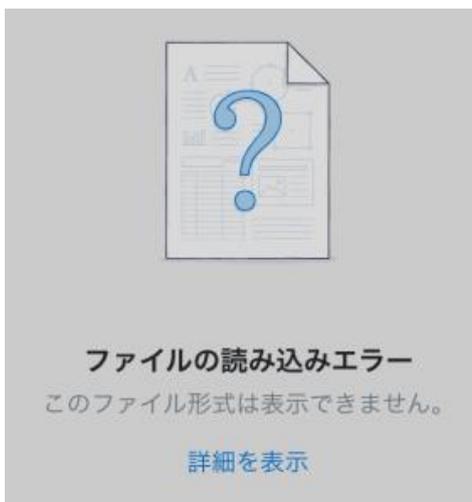


以下のようにファイルが表示されます。ファイル名をタップして読み込みが完了するとモデルが表示されます。



<2.Dropbox などのストレージサービスを利用して iPad でモデルを表示する方法>

- ①あらかじめ Dropbox などのファイルストレージサービスに「*.xcs」ファイルをアップしておきます。
- ②3D-Vega ビューアーがインストールされている iPad で Dropbox などのストレージサービスのアプリを起動します。
- ③ファイルストレージサービスの中にアップしているデータをタップします。
- ④データの読み込みが完了したら以下のような表示がされます。



- ⑤画面の右上にあるマークをタップし、「別のアプリで開く」を選択します。



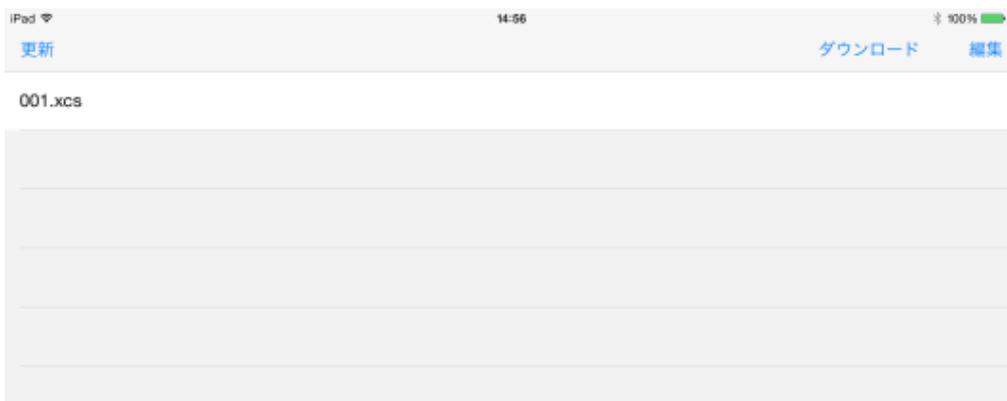
⑥アプリ一覧に「3D-Vega」が表示されますのでタップします。



⑦ iPad のビューアーの一覧表に取り込まれます。表示されない場合は「更新」ボタンをクリックして下さい。



以下のようにファイルが表示されます。ファイル名をタップして表示を行います。



<3.URL リンクからデータを直接 iPad で表示する方法>

①.xcs ファイルを、お客様自身の Web サーバの任意の場所にアップロードします。

②HTML ファイルを作成します。

HTML ファイルには、①でアップロードしたアップロード場所の URL を記述します。

記述する URL は「http://」を『vega://』とし、www から始まるファイルの URL を記入して、A タグで囲むようにします。

(下記の参考例をご覧ください)

※.xcs ファイルを置いてある場所は、本来「http://」で始まる URL ですが、『vega://』の書式でリンクを作成すると、ブラウザ上でリンクをタップしたときに 3D-Vega をキックできるようになります。

※vega の後は、必ず「://」とする必要があります。

③②で作成した HTML ファイルを、お客様自身のサーバの任意の場所にアップロードします。

④③でアップロードした HTML を iPad 上のブラウザで表示させます。

⑤リンクをタップします。

⑥3D-Vega が起動して、リストに.xcs ファイル名が追加されます。

参考例) 弊社のサーバに.xcs ファイルをアップロードした場合

- .xcs ファイル (ファイル名 : vega-test01.xcs) のアップロード場所の URL。

<http://www.gsu.jp/download/3d-vega/vega-test01.xcs>

- 上記で作成した HTML 内の記述 (ファイル名は任意)。

vega:// www.gsu.jp/download/3d-vega/vega-test01.xcs

```
<body>
モデルを表示するには、<A Href="vega://www.gsu.jp/download/3d-vega/vega-test01.xcs">ここをタップ</A>
してください。
</body>
```

上記のように A タグで囲んで記述します (文章はお客様ご自身でお考えいただいて結構です)。

- HTML をサーバにアップロードします。

アップロードした HTML ファイルの URL は以下になります。

<http://www.gsu.jp/download/3d-vega/vega-test02.html>

実際にこちらの URL をクリックすると、上記の.xcs ファイルの URL リンクが表示されます。

※上記作業には HTML の知識が必要となります。

※iPad には 3D-Vega がインストールされている必要があります。

<4.メールに添付する方法>

.xcs ファイルをメールに添付して送信します。

受信側は、iPad の「メール」アプリにてメールを開き、ファイルをタップしてから「3D Vega で開く」をタップすると

3D-Vega が起動して、一覧にファイルが表示されます。

■ iPad または iPhone に取り込んだデータの削除

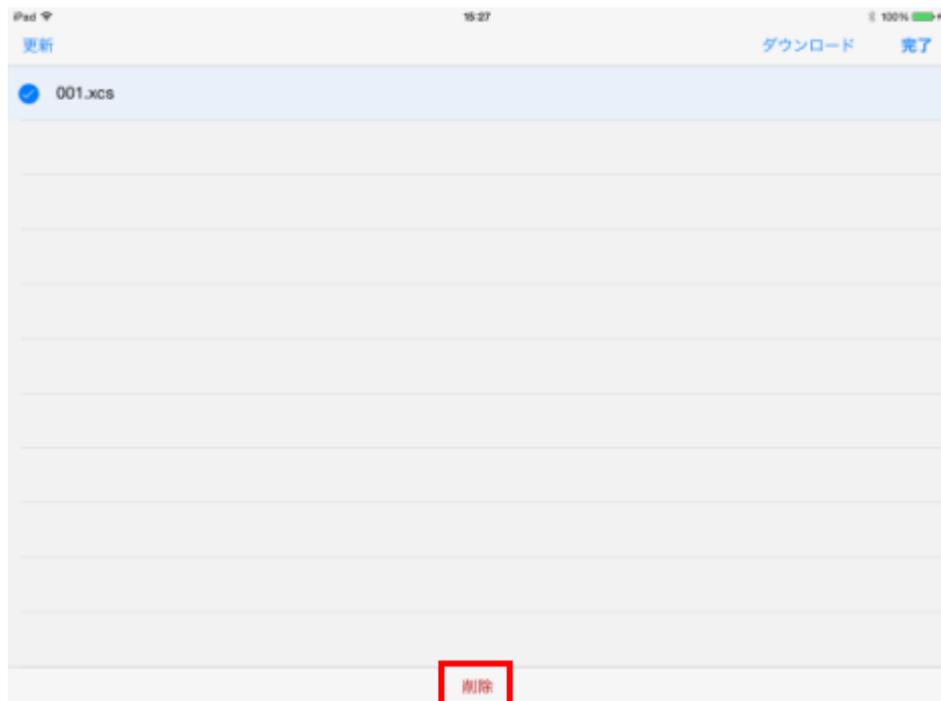
①一覧が表示されている画面の右上の「編集」ボタンをタップします。



すると一覧の表示が変わり、以下のようなチェックボタンが表示されるので不要なファイルを選択します。



②「削除」ボタンが表示されるのでタップした後に「完了」ボタンをタップします。



■3D Vega ビューアーを使ってみる

iPad 上のアイコンをタップして 3D-Vega を起動してください。

表示するファイルを選択してください（右下 X アイコンで、この画面に戻れます）

<アイコンおよび指での操作詳細>

= 指の操作 =

ピンチ：指の位置で拡大および縮小

1 本指：ウォークスルー（画面に向かって上方向が前進、下方向が後進）

2 本指：（1 のアイコンをクリックした場合）カメラ位置の移動

（2 のアイコンをクリックした場合）モデルの移動

（3 のアイコンをクリックした場合）モデル全体の中心で 3 次元回転

= アイコン操作 =

選択しているアイコンはブルーで表示されます。

1 のアイコン：カメラ（視点）の位置を移動する

2 のアイコン：カメラ（視点）の向きを移動する

3 のアイコン：モデル全体の中心で 3 次元回転する（SketchUp のオービットに相当）

4 のアイコン：エッジの表示および非表示の切り替え

5 のアイコン：レンダリングした影の表示および非表示の切り替え

6 のアイコン：モデルに対して接近および退避を行う

7 のアイコン：カメラ位置をホームポジションに戻す

8 のアイコン：SketchUp で登録したシーンのカメラ位置を表示する。

※SketchUp で設定したシーンのレイヤ操作などはインポートされません。インポートされるのはカメラの位置のみです。



3D-Vega の詳しい操作方法に関しては下記のページをご覧ください。

<http://www.alphacox.com/3d-vega/>

上記ページの「操作説明」タブをご参照下さい。チュートリアル動画等も掲載しております。

※評価用データ (.xcs) で操作をお試し頂けます。

以下からこちらでデモ用に変換を行ったファイルをダウンロードしてください。

ダウンロード URL : <http://www.alphacox.com/3d-vega/download/>

■本書に関して

発行人：株式会社アルファコックス（代表取締役 廣瀬繁伸）

発行年月日：2012年9月19日

第12版：2015年12月09日

日本語でのテクニカルサポートは株式会社アルファコックスでお受けします。

以下のフォーム、または FAX にてお問い合わせ下さい。

<http://www.alphacox.com/company/contact>

FAX : 03-3485-8199

※お電話でのお問い合わせにはお答えしかねる場合がございますのでご了承ください。

※本書は株式会社アルファコックスによって開発された「3D-Vega」のインストールおよびオペレーティングマニュアルです。

※本書の内容に記載ミスまたはオペレーション指導方法にミスがあった際には、実際の動作を優先してください。

※本書の内容を通じて生じた如何なる問題及び障害に関して、株式会社アルファコックスは一切の責任を負いません。

予めご了承ください。

※本書は変更される可能性があります。予めご了承ください。

※本書を無断で転用および転写することを固く禁じます。

※SketchUp2013の無料版（Make）から商用利用が禁止になりました。無料版（Make）上で3D-Vegaをお使いになっている場合で確認の為に商用使用か否かを確認させて頂く場合がございますのでご了承ください。

※無料版（Make）上で3D-Vegaをお使いになっている場合で明らかに商用使用の場合には確認を行わずに開発元に報告を行う場合がございますのでご了承ください。